

## ■シャッターの選定

### メカニカルシャッターの基本構成

①シャッター本体 ②コントローラ から成ります。

#### 1) シャッターの選定

1-1) 「開口径」「開口時間(シャッタースピード)」「最大繰返し」などから用途に合ったモデルを決定します。

※詳細なタイミング仕様は各モデルの個別カタログを確認して下さい。

1-2) ハウジングケースの有/無を決定します。

※ハウジング無しはOEMや組込、狭スペース向け。

1-3) ブレードを選択します。

a) 「T」ブレード: 標準ブレード。両面艶消し黒テフロン処理。

※高出力レーザーや水銀/キセノンランプなどの高出力光源で使用する場合、ブレードへのダメージを軽減するために表面処理オプションが推奨されます。

b) 「Z」ブレード: 可視域向け

耐久性…10W/mm<sup>2</sup>(CS/VS/QCSシリーズ)、5W/mm<sup>2</sup>(LS/UHSシリーズ)

c) 「ZM」ブレード: 紫外・近赤外向け

耐久性…5W/mm<sup>2</sup>(CS/VS/QCSシリーズ)、2.5W/mm<sup>2</sup>(LS/UHSシリーズ)

1-4) SYNK機能の有/無を決定します。

※シャッターのオープン/クローズを内蔵センサーで検知し、シャッターブレードが80%開いた時点でフィードバック信号を出力します。(センサーには940nmダイオードを使用)

#### [ シャッター型番例 ]



#### 2) コントローラの選定

2-1) 接続するシャッター台数を決定します(チャンネル数)

a) 1台 →「VCM-D1J」または「VMM-T1J」

b) 3台 →「VMM-D3J」

c) 4台 →「VMM-D4J」

2-2) 接続台数が1台の場合、シャッターの制御(露光時間・ディレイ時間)を

a) 外部入力ソース(TTL)で行う →「VCM-D1J」

b) コントローラの内蔵タイマー設定で行う →「VMM-T1J」

◎次にオプションを追加選択します。

#### 3) 取付けマウントの追加

#### 4) ケーブルの追加

a) PCからRS232制御を行う →「810RJ」または「910RS」(コントローラに依る)

b) コントローラをデジチェーン接続する →「810RJ」または「910RSDC」

c) 手動でリモート制御を行う →「710R」または「710R/F」